

＝平成30年度早川南小学校だより＝

はるき



平成30年10月3日

No.27

校長 坂野修一

運動会、がんばった子どもたち！

感動・感謝・次に向けて…



願い叶わず、雨が降ってしまいました。雨が降ることは確実でしたが、午前中くらいは降らずに外でできるという淡い期待を持っていました。朝3時半に起き、起床レーダー、いえ、気象レーダーを確認したら、「午前中はもしかするといける！」と思いました。4時半、一宮の自宅を出発したのですが、身延町あたりに入るとフロントガラスにポツポツと雨があたりはじめ、思わず「嘘でしょ？」と呟いた私…。早川町内に入ると、その雨脚は強くなってきました。

とフロントガラスにポツポツと雨があたりはじめ、思わず「嘘でしょ？」と呟いた私…。早川町内に入ると、その雨脚は強くなってきました。

体育館開催になりがっかりしている私を元気にしてくれたのは、登校してくる子どもたちの元気な「おはようございます」の声でした。てきぱき働いてくれるPTAの役員さんにも感謝しながら、私自身のモチベーションをあげていきました。（途中停電になった時には、本当に焦りましたが…）

子どもたちは、体育館になって保護者の皆様との距離が近くなったことで、いつも以上に張り切っていたかと思います。その表れが、開会式での「決意表明」や「運動会の歌」であり、本当に体育館が壊れるかと心配するほどでした。甲子園球児の、音程無視した校歌斉唱ではないですが、健気に頑張って声を張り上げる子どもたちに、そのあたりで一度私の涙腺は緩くなったのです。

低学年、高学年の表現運動は素晴らしかったです。それぞれ低学年らしい、高学年らしい表現になっていて、特に、高学年の組み立て体操のフィナーレは圧巻でした。なかなか大技が決まらなかった過程をずっと見てきたので、本番での「栄光の架橋」のBGMにぴったりあって決まったタワーの完成に、涙がこみ上げてきました。頑張った子どもたち、それを支えた担任の先生方のご苦勞に頭が下がる思いでいっぱいです。

「美顔ワールドカップ」は、噂どおりの競技でした。おかげさまで、私もそれなりに白くさせていただきました。どの学校にも伝統の競技というものがありますが、早川南小学校に運動会がある限り、この競技は続くものと確信しました。雨中での片づけには、ただただ感謝の一言に尽きます。本当にありがとうございました。

子どもたちの成長を共に喜び合いながら、運動会を楽しむ保護者の皆様の姿が早川南小学校にありました。なんて素晴らしいことなのでしょう。子どもたちは、次の目標として11月18日(日)のバンドフェスティバルを掲げています。子どもたちの成長を喜び、バンドフェスティバルを楽しむ教職員の姿も見せるべく、教職員一丸となって頑張りたいと思います。引き続き、ご支援ご協力をいただけますようお願いいたします。

◎台風対応にも感謝です！

半端ない台風24号が日本を縦断しました。日本各地に、そして山梨県の各地に大きな被害が出ました。テレビ・新聞などで報道されていましたが、前任校の御坂西小の屋根(太陽光パネルを含む)が飛んでしまいました。我が家の前のぶどう畑のビニルハウスは倒壊しました。我が家の庭の木も太い枝が何本も折れました。生きた心地のしなかった2時間あまりでしたが、早川町もさぞかし暴風雨が吹き荒れたことでしょう。その影響で停電があちらこちらでおき、昨日は給食が提供できないなど学校生活にも支障が出ました。誰のせいでもなく自然災害の影響とはいえ、保護者の皆様にはたいへんなご心配とご面倒をおかけしましたが、弁当づくりなど対応をありがとうございました。